

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●天皇賞(春)はフィエールマンが勝利

4月28日(日)に行われた天皇賞(春)(G I)ではフィエールマン(牡4歳/美浦・手塚貴久厩舎)が優勝しました。デビューから6戦目での勝利は1947年オーライトの9戦目を更新する天皇賞(春)の史上最少キャリア優勝記録。ディープインパクト産駒は八大競走[皐月賞、東京優駿(日本ダービー)、菊花賞、桜花賞、優駿牝馬(オークス)、天皇賞(春)、天皇賞(秋)、有馬記念]完全制覇となり、これはヒンドスタン、パーソロン、サンデーサイレンスに次いで史上4頭目のこと。フィエールマンの鞍上クリストフルメール騎手も八大競走完全制覇を達成し、これは保田隆芳元騎手、武豊騎手に次ぐ史上3人目のこととなります。

●和田竜二騎手がJRA通算1万7000回騎乗を達成

4月27日(土)の2回東京3日・第11レースとして行われたテレビ東京杯青葉賞(G II)でバラックパリンカに騎乗した和田竜二騎手(栗東・フリー)は、この騎乗で史上9人目、現役では7人目となるJRA通算1万7000回騎乗を達成しました。

●D.レーン騎手がJRA初勝利をあげる

4月28日(日)の2回東京4日・第5レースではグルファクシーが1着となり、同馬に騎乗したダミアン・レーン騎手(オーストラリア)は、JRA初勝利(7戦目)をあげました。

●C.ルメール騎手がJRA通算1000勝を達成

4月29日(祝・月)の1回新潟2日・第5レースではエクセランフィエーユが1着となり、同馬に騎乗したクリストフルメール騎手は、史上34人目、現役では17人目となるJRA通算1000勝を達成しました。5122戦目での1000勝達成で、これは野平祐二元騎手の5209戦を更新する史上最少騎乗回数での達成となります。

●カワキタエンカの競走馬登録抹消

2018年ローレル競馬場賞中山牝馬S(G III)の勝ち馬カワキタエンカ(牝5歳/栗東・浜田多実雄厩舎)は、4月26日(金)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績は17戦3勝で、今後は北海道新ひだか町の木田牧場で繁殖馬となる予定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●兵庫チャンピオンシップ(園田)は無敗馬クリソベリルが圧勝

兵庫チャンピオンシップ(Jpn II、3歳、5月2日、園田、1870^円)は、3番手から3、4コーナー中間で先頭に立ったクリソベリル(クリストフルメール騎手、牡、父ゴールドアリュール)が後続を5馬身引き離し、単勝1.1倍の圧倒的支持に応じてデビュー以来の連勝を3に伸ばしました。2番人気のヴァイトブリックが2着を確保し、メスキータは5着、逃げた3番人気のゴールドドラグーンは6着、ダイシンインディーは7着に敗れています。

●ゴールドクイーンがかきつばた記念(名古屋)を逃げ切る

かきつばた記念(Jpn III、5月1日、名古屋、1400^円)は、先手を取った2番人気のゴールドクイーン(古川吉洋騎手、牝4歳、父シニスターミニスター)が1番人気のヤマニンアンプリメを寄せ付けず、2馬身半差を付けて逃げ切りました。テーオーヘリオスが3着に入り、3番人気のウインムートは差のある4着、リエノテソーロは12着でした。

●5月6日のかしわ記念はインティとゴールドドリームの再戦

かしわ記念(Jpn I、5月6日、船橋、1600^円)は、フェブラリーS 1、2着のインティとゴールドドリームとの再戦ムードが濃厚で、以下オールブラッシュ、モーニン、アポロケンタッキー、キタサンミカヅキ(船橋)、ドリームキラリまでが争覇圏内と考えられます。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●香港チャンピオンズデー～ウインブライトがG 1初制覇

1日に3つのG 1を集中して行なう「チャンピオンズデー」が4月28日に香港のシャティン競馬場で開催され、そのメインレースにあたるG 1クイーンエリザベス二世C(3歳上、芝2000^m)を日本から遠征したウインブライト(牡5歳、美浦・畠山吉宏厩舎)が松岡正海騎手を背に中団待機から直線で抜け出して優勝。父ステイゴールドと同じく、香港でG 1初制覇を果たしました。勝ちタイムの1分58秒81はコースレコードでした。2着には昨年G 1香港ヴァーズの勝ち馬エグザルタントが入り、3着に日本調教馬リスグラシュー。同じく日本のディアドラは6着でした。また、日本からはこのほかにナックビーナスがG 1チェアマンズスプリントブライズ(3歳上、芝1200^m)に参戦しましたが6着。勝ったのは地元香港のビートザクロック(騾5歳、父ヒンチンブルック、J. サイズ厩舎)でした。なお、もうひとつのG 1であるチャンピオンズマイル(3歳上、芝1600^m)は単勝1.05倍の圧倒的な1番人気に推されたビューティージェネレーション(騾6歳、父ロードトゥロック、J. ムーア厩舎)があっさり逃げ切って優勝。香港歴代賞金王(8477万香港^{ドル}≒約11億8700万円/1香港^{ドル}14円で換算)の座に就くとともに、香港のシーズン最多勝記録(8勝)も塗り替えました。